＜様式1＞

平成 29年 09月 04日

国土交通大臣　殿

地域型住宅グリーン化事業　適用申請書

【平成29年度】

本申請書の内容により、地域型住宅グリーン化事業の適用を申請します。
この申請書及び添付資料に記載の事項は、事実に相違ありません。

地域型住宅の名称	グリーン化住宅
グループの名称	グリーンハウザー共の会
直近採択グループ番号	04-0449-0086

（グループ代表者）

代表者名	和泉　一昭　代表者印
代表者所属先	株式会社グリーンハウザー
代表者所在地	宮城県仙台市宮城野区中野字上小袋田18番1
代表者電話番号	022-254-4172

（グループ事務局）

事務局事業者名	株式会社グリーンハウザー
事務局担当者名	後藤　克彦　印
事務局郵便番号	983-0013
事務局所在地	宮城県仙台市宮城野区中野字上小袋田18番1
事務局電話番号	022-254-4172
事務局FAX	022-258-7720
事務局担当者E-mail	kt.goto@greenhouser.jtchd.jp

※）　日付以外は、様式2-1からリンクする為、入力は必要はありません。

＜地域型住宅の生産体制＞　　＜様式２－１＞

１．地域型住宅の名称(必須)	グリーン化住宅
２．グループの名称(必須)	グリーンハウザー共の会
３．直近採択グループ番号(必須)	04-0449-0086
４．地域型住宅供給対象地域(必須)	宮城県
５．結成年(必須)	2015　年
６．グループ代表者名(必須)	和泉　一昭
７．グループ代表者の所属先(必須)	株式会社グリーンハウザー
８．グループ代表者所在地(必須)	宮城県仙台市宮城野区中野字上小袋田18番1
９．グループ代表者電話番号(必須)	022-254-4172
１０．グループ事務局事業者名(必須)	株式会社グリーンハウザー
１１．グループ事務局担当者名(必須)	後藤　克彦
１２．グループ事務局郵便番号(必須)	983-0013
１３．グループ事務局所在地(必須)	宮城県仙台市宮城野区中野字上小袋田18番1
１４．グループ事務局電話番号(必須)	022-254-4172
１５．グループ事務局FAX番号(必須)	022-258-7720
１６．グループ事務局担当者E-mail(必須)	kt.goto@greenhouser.jtchd.jp

（構成員数）		（構成員を含まない理由）
Ⅰ．原木供給	3	
Ⅱ．製材・集成材製造・合板製造	10	
Ⅲ．建材流通（木材を扱わない事業者を除く）	3	
Ⅳ．プレカット	1	
Ⅴ．設計	1	
Ⅵ．施工	8	
Ⅶ．木材を扱わない流通	0	
Ⅷ．Ⅰ～Ⅶ以外の業種	1	

	対象となる地域材の名称	地域材の産地	認証制度等の名称 ※以下該当の1、2、3の番号を番号記入欄に記入してください。 1.都道府県の産地認証制度等によるもの 2.民間の第三者機関による認証制度(FSC、PEFC、SGEC等) 3.林野庁作成の「木材・木材製品の合法性、持続可能性のためのガイドライン(平成18年2月)に基づき合法性が証明されるもの 4.クリーンウッドに基づき合法であることが確認された木材・木材製品（合法伐採木材等証明）	番号記入欄	国内・国外
A．使用する地域材に関する事項　(必須)	■　合法木材証明制度を利用する	全国		3	国内
	■　合法木材証明制度を利用する	国外		3	国外
	□　PEFC認証制度を利用する	国外		2	国外
	□　SGEC認証制度を利用する	全国		2	国内
	□　FSC認証制度を利用する	全国		2	国内
	□　FIPC認証制度を利用する	全国		2	国内
	使用する地域材は必須項目です。				

B．平成２９年度における補助対象の木造住宅 の申請要望戸数、地域材加算要望戸数、 三世代同居対応加算要望戸数（必須）	長寿命型（長期優良住宅） **経験**工務店による申請戸数	申請が確実（上限100万円）		0	戸
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実（上限20万円）	0	戸
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実（上限30万円）	0	戸
		申請が未確定（上限100万円）		0	戸
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定（上限20万円）	0	戸
			上記の内、三世代同居加算の申請が未確定（上限30万円）	0	戸
	長寿命型（長期優良住宅） **未経験**工務店による申請戸数	申請が確実（上限100万円）		0	戸
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実（上限20万円）	0	戸
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実（上限30万円）	0	戸
		申請が未確定（上限100万円）		0	戸
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定（上限20万円）	0	戸
			上記の内、三世代同居加算の申請が未確定（上限30万円）	0	戸
	高度省エネ型 （認定低炭素住宅）の申請戸数	申請が確実（上限100万円）		0	戸
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実（上限20万円）	0	戸
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実（上限30万円）	0	戸
		申請が未確定（上限100万円）		9	戸
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定（上限20万円）	9	戸
			上記の内、三世代同居加算の申請が未確定（上限30万円）	0	戸
	高度省エネ型 （性能向上計画認定住宅）の申請戸数	申請が確実（上限100万円）		0	戸
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実（上限20万円）	0	戸
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実（上限30万円）	0	戸
		申請が未確定（上限100万円）		0	戸
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定（上限20万円）	0	戸
			上記の内、三世代同居加算の申請が未確定（上限30万円）	0	戸
	高度省エネ型（ゼロ・エネルギー） **経験**工務店（4戸（8戸）以上）による申請戸数	申請が確実（上限150万円）		0	戸
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実（上限20万円）	0	戸
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実（上限30万円）	0	戸
		申請が未確定（上限150万円）		0	戸
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定（上限20万円）	0	戸
			上記の内、三世代同居加算の申請が未確定（上限30万円）	0	戸
	高度省エネ型（ゼロ・エネルギー） **未経験**工務店（4戸（8戸）未満）による申請戸数	申請が確実（上限165万円）		0	戸
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実（上限20万円）	0	戸
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実（上限30万円）	0	戸
		申請が未確定（上限165万円）		0	戸
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定（上限20万円）	0	戸
			上記の内、三世代同居加算の申請が未確定（上限30万円）	0	戸

C. 平成29年度当初予算における補助対象の優良建築物の申請要望棟数及び床面積	優良建築物の申請棟数	申請が確実	0	棟
			0	㎡
		申請が未確定	0	棟
			0	㎡

D. 当提案が採択された場合の各住宅事業者における補助対象戸数の配分ルール （必須）	認定低炭素住宅の未経験工務店を優先しその上で受注が確実な工務店から優先的に配分する（当グループは共通ルールとして認定低炭素住宅限定としているため長寿命型・ゼロエネ住宅・木造建築物での申請は行いません）

E. 平成２８年度の執行状況（必須）	長寿命型（長期優良住宅）								
	当初予算	採択戸数	0	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績（竣工予定含む）戸数	0 戸
	補正予算	採択戸数	0	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績（竣工予定含む）戸数	0 戸
	高度省エネ型（認定低炭素住宅）								
	当初予算	採択戸数	1	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績（竣工予定含む）戸数	0 戸
	補正予算	採択戸数	0	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績（竣工予定含む）戸数	0 戸
	高度省エネ型（性能向上計画認定住宅）								
	当初予算	採択戸数	0	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績（竣工予定含む）戸数	0 戸
	補正予算	採択戸数	0	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績（竣工予定含む）戸数	0 戸
	高度省エネ型（ゼロ・エネルギー住宅）								
	当初予算	採択戸数	0	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績（竣工予定含む）戸数	0 戸
	補正予算	採択戸数	0	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績（竣工予定含む）戸数	0 戸
	優良建築物型								
	当初予算	採択棟数	0	棟	交付申請戸数	0	棟	完了実績（竣工予定含む）棟数	0 戸
	当初予算	採択床面積	0	㎡	交付申請床面積	0	㎡	完了実績（竣工予定含む）床面積	0 ㎡

＜様式 2-2・Ⅰ＞

＜グループ構成員記入用リスト＞Ⅰ．原木供給（長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通）

グループ構成員に原木供給者を含まない場合、及びグループにおける地域材供給ルートにおいて原木供給者を含まないことがある場合の理由

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅰ．原木供給						
9	Ⅰ － 5	栃木県森林組合連合会		320-0046	栃木県宇都宮市西一の沢町8番22号	028-637-1450
13	Ⅰ － 6	協和木材株式会社		135-0016	東京都江東区東陽5丁目30番13号東京原木会館	03-5857-5225
34	Ⅰ － 12	株式会社ウッドワン		738-8502	広島県廿日市市木材港南1-1	0829-32-3333
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					

＜様式 2-2・Ⅱ＞

＜グループ構成員記入用リスト＞Ⅱ．製材・集成材・合板製造（長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通）

グループ構成員に製材・集成材・合板製造業者を含まない場合、及びグループにおける地域材供給ルートにおいて製材・集成材・合板製造業者を含まないことがある場合の理由

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅱ．製材・集成材・合板製造						
13	Ⅱ － 6	協和木材株式会社		135-0016	東京都江東区東陽5丁目30番13号東京原木会館	03-5857-5225
9	Ⅱ － 7	株式会社トーセン		329-2511	栃木県矢板市山田67番地	0287-43-8379
34	Ⅱ － 8	中国木材株式会社		737-0134	広島県呉市広多賀谷3丁目1-1	0823-71-7141
29	Ⅱ － 9	株式会社櫻井		639-3114	奈良県吉野郡吉野町丹治15-1	0746-32-0563
5	Ⅱ － 10	株式会社宮盛		018-1734	秋田県南秋田郡五城目町大川大川字沖面195	018-875-2151
34	Ⅱ － 12	株式会社ウッドワン		738-8502	広島県廿日市市木材港南1-1	0829-32-3333
7	Ⅱ － 14	株式会社キクモク		972-8312	福島県いわき市常磐下船尾町杭出作170	0246-43-1234
5	Ⅱ － 15	アイプライ株式会社		010-0941	秋田県秋田市川尻町字大川反232番地	018-823-0511
13	Ⅱ － 16	ホクヨープライウッド株式会社		113-0033	東京都文京区本郷1丁目25番5号	03-3816-3041
4	Ⅱ － 17	石巻合板工業株式会社		986-0842	宮城県石巻市潮見町4-3	0225-96-3111
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					

＜様式 2-2・Ⅲ＞

＜グループ構成員記入用リスト＞Ⅲ．建材流通（木材を扱わない事業者を除く、長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通）

グループ構成員に建材流通（木材を扱わない事業者を除く）を含まない場合、及びグループにおける地域材供給ルートにおいて建材流通（木材を扱わない事業者を除く）を含まないことがある場合の理由

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅲ．建材流通（木材を扱わない事業者を除く）						
4	Ⅲ － 1	株式会社グリーンハウザー		983-0013	宮城県仙台市宮城野区中野字上小袋田１８番１	022-254-4172
13	Ⅲ － 11	株式会社ザイエンス		100-0005	東京都千代田区丸の内2丁目3番2号	03-3284-0501
13	Ⅲ － 13	兼松サステック株式会社		103-0007	東京都中央区日本橋浜町3-3-2トルナーレ日本橋浜町6階	03-6631-6600
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －				

＜グループ構成員記入用リスト＞ Ⅳ．プレカット（長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通）

＜様式 2-2・Ⅳ＞

グループ構成員にプレカット事業者を含まない場合、及びグループにおける地域材供給ルートにおいてプレカット事業者を含まないことがある場合の理由

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅳ．プレカット						
4	Ⅳ － 4	ポラテック東北株式会社		981-4203	宮城県加美郡加美町菜切谷字中野一番5番地4	0229-63-8815
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					

＜様式 2-2・Ｖ＞

＜グループ構成員記入用リスト＞Ｖ．設計（長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通）

グループ構成員に設計事業者を含まない場合、その理由

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号	省エネ講習修了済	省エネ講習受講予定
Ｖ．設計							○	○
4	Ｖ － 1	株式会社グリーンハウザー		983-0013	宮城県仙台市宮城野区中野字上小袋田18番1	022-254-4172	○	
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							

＜グループ構成員記入用リスト＞Ⅵ. 施工-1（長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通）

県番号	構成員番号	事業者番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号	省エネ講習修了済	省エネ講習受講予定
Ⅵ. 施工-1（長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通）							8	○	○
4	Ⅵ － 1	60654	株式会社グリーンハウザー		983-0013	宮城県仙台市宮城野区中野字上小袋田18番1	022-254-4172	○	
4	Ⅵ － 2	60597	有限会社田尻工務店		981-0503	宮城県東松島市矢本字下浦３１０－１	0225-82-6928	○	
4	Ⅵ － 3	60662	株式会社サンホーム		982-0003	宮城県仙台市太白区郡山字穴田東１５－１	022-249-7515	○	
4	Ⅵ － 18	60584	スタップ株式会社		981-0924	宮城県仙台市青葉区双葉ヶ丘１丁目４５－１１	022-271-0840	○	
4	Ⅵ － 19	60568	株式会社　ベンチャーデザイン		981-3122	宮城県仙台市泉区加茂１丁目２８－２	022-342-7571	○	
4	Ⅵ － 20	60503	有限会社アイリュウ住宅		989-3128	宮城県仙台市青葉区愛子中央３丁目２０番地の５号	022-392-3194		○
4	Ⅵ － 21	60513	有限会社ヤママン山田建業		984-0033	宮城県仙台市若林区荒浜字中堀南２－２	022-288-5702	○	
4	Ⅵ － 22	60628	株式会社リバースプロジェクト		984-0032	宮城県仙台市若林区荒井字札屋敷９６－１	022-369-3410	○	
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －						

＜グループ構成員記入用リスト＞Ⅵ. 施工－2（長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通）

＜様式 2-2・Ⅵ-2＞

県番号	構成員番号	事業者番号	事業者名	平成28年（1月～12月）の元請実績及び直近3年の年平均元請実績										補助金の活用実績		被災地に該当	ZEHビルダーに該当	BELS工務店に該当
Ⅵ. 施工-2				元請の新築住宅供給戸数		うち木造長期優良住宅の実績		うち木造認定低炭素住宅の実績		うち木造ゼロエネ住宅の実績		優良建築物の着工床面積の実績		長期優良住宅	ゼロエネ住宅	○	○	○
				H28年実績	直近3年平均	H28年実績	直近3年平均	H28年実績	直近3年平均	H28年実績	直近3年平均	H28年実績	直近3年平均	○	○			
4	Ⅵ － 1	60654	株式会社グリーンハウザー	31 戸	30 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡			○	○	
4	Ⅵ － 2	60597	有限会社田尻工務店	7 戸	7 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡			○		
4	Ⅵ － 3	60662	株式会社サンホーム	4 戸	5 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡			○	○	
4	Ⅵ － 18	60584	スタップ株式会社	8 戸	8 戸	0 戸	0 戸	2 戸	1 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡			○		
4	Ⅵ － 19	60568	株式会社　ベンチャーデザイン	6 戸	6 戸	3 戸	3 戸	2 戸	1 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	○		○		
4	Ⅵ － 20	60503	有限会社アイリュウ住宅	1 戸	2 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡			○	○	
4	Ⅵ － 21	60513	有限会社ヤママン山田建業	2 戸	5 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡			○		
4	Ⅵ － 22	60628	株式会社リバースプロジェクト	9 戸	9 戸	0 戸	0 戸	1 戸	1 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡			○		
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					

＜グループ構成員記入用リスト＞Ⅶ. 木材を扱わない流通

＜様式 2-2・Ⅶ＞

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅶ. 木材を扱わない流通						
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					

＜様式 2-2・Ⅷ＞

＜グループ構成員記入用リスト＞Ⅷ．Ⅰ～Ⅶ以外の業種（畳、瓦、襖等の住宅資材の供給事業者等）

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅷ．Ⅰ～Ⅶ以外の業種						
13	Ⅷ － 13	兼松サステック株式会社		103-0007	東京都中央区日本橋浜町3-3-2トルナーレ日本橋浜町6階	03-6631-6600
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －				

＜地域型住宅グリーン化事業に対する取り組み＞（長寿命型・高度省エネ型・優良建築物型共通）　　＜様式３－１＞

１．地域型住宅の名称・対象地域(必須)	（地域型住宅の名称）グリーン化住宅	（地域型住宅供給対象地域）宮城県
２．グループの名称・結成年(必須)	（グループの名称）グリーンハウザー共の会	（結成年）2015 年
３．過去のグリーン化事業採択グループ番号(必須)	04-0449-0086	

４．地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み　※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。
※住宅と建築物（非住宅）の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

ア．特徴ある地域型住宅の目標設定

【平成29年度対応方針】		◎、○記入欄
①地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の重視する性能	認定低炭素住宅・限定とする。	◎
②地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の建て方や様式	立地条件と住まい方に応じて自然エネルギーを活用。	○
③地域の気候・風土等に根差した地域型住宅のデザインルール	緑豊かな環境に溶け込んだデザイン。	○
④ ①～③の背景	仙台は「杜の都」と呼ばれ、広瀬川沿いの緑豊かな環境と市街地を含む丘陵、定禅寺通りと青葉通りのケヤキ並木など、自然の恵沢とそれらと相まった都市の風景が魅力である。 仙台市の方針として低炭素社会の構築に向けて、エネルギー付加の小さい都市空間を形成する為に、建築物の省エネルギー性能の向上を掲げている。	○
⑤その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	当グループは、共通ルールとして認定低炭素住宅・限定としているため長期優良住宅の交付申請は行いません。 長寿命型での配分は0でかまいませんが、その分認定低炭素住宅の配分に回して頂くことを希望いたします。	◎

イ．効率的な住宅生産体制の整備

【平成29年度対応方針】				◎、○記入欄
a	①-1 用材の寸法規格化	□ 行っていない ■ 行っている→	内容: 地域特性にあった共通標準仕様書を作成する。	○
	①-2 使用建材の統一	□ 行っていない ■ 行っている→	内容: 共通標準仕様書から、省エネ機器を絞り込んでいく。	○
	①-3 標準仕様の設定	□ 行っていない ■ 行っている→	内容: 躯体についての標準仕様を決定している。	○
	②-1 建材・資材調達の共同化	■ 行っていない □ 行っている→	内容: 建材、資材の販売店である事務局が窓口となり共同購買を推進する。	◎
	②-2 調達事務の合理化	■ 行っていない □ 行っている→	内容: 地域型住宅の標準仕様書で対象商品を特定する。	○
	③ 生産の合理化等に向けた検討委員会等の設置	□ 行っていない ■ 行っている→	内容: グループ内に委員会を設置し、委員長を建材流通構成員である事務局とする。	○
	④ 生産の合理化等に向けて事務局が果たす役割	□ ない ■ ある →	内容: 事務局は新商品や施策情報を収集・発信する。	◎
b.	① グループの信頼性向上に向けた施工基準	■ ない □ ある →	内容: グループとして認定低炭素住宅を標準仕様にもっていく。	○
	② グループの信頼性向上に向けた検査ルール	■ ない □ ある →	内容: グループ共通の検査チェックリストを作成しグループ内にて共有する。	○
	③ グループの信頼性向上に向けた見積・積算のルール	□ ない ■ ある →	内容: 見積書の表現はわかり易い内容とし、省エネ機器等、メーカー・定価が明らかなものは表示する。	○
	④ グループの信頼性向上に向けたその他の具体的取組	□ ない ■ ある →	内容: 当グループの共通標準仕様を反映させたモデルハウスを構築し、未経験構成員への支援とグループの信頼向上に役立てる。	○
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。		途中参加する施工事業者は、省エネ講習受講を条件とする。		◎

※）　行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

＜地域型住宅グリーン化事業に対する取り組み＞（長寿命型・高度省エネ型・優良建築物型共通）　＜様式３－２＞

1．地域型住宅の名称・対象地域(必須)	（地域型住宅の名称）グリーン化住宅	（地域型住宅供給対象地域）宮城県
2．グループの名称・結成年月(必須)	（グループの名称）グリーンハウザー共の会	（結成年）2015 年
3．過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	04-0449-0086	

4．地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み　※記入した内容おいて「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。
※住宅と建築物（非住宅））の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

ウ．長期にわたる住宅メンテナンス体制の整備

【平成29年度対応方針】			◎、○記入欄
a	① 住宅履歴情報の蓄積	前年度までは施工構成員独自で住宅履歴情報の蓄積管理を行っていたが、今年度からは事務局でも情報収集し一元管理する。	○
	①-1 内容・蓄積の共通ルール	■ ない　□ ある → 内容：住宅履歴情報システムにデータ保管するようにする。	○
	①-2 情報サービス機関の活用	■ ない　□ ある → 内容：情報サービス機関を活用するようにする。	○
	①-3 履歴情報蓄積の確認手法	■ ない　□ ある → 内容：事務局、施工者、施主が共通IDにより確認できるようにする。	○
	② メンテナンス基準の整備		
	②-1 点検の共通ルール	■ ない　□ ある → 内容：維持管理計画を作成する。	○
	②-2 補修の共通ルール	□ ない　■ ある → 内容：地震等の自然災害時には、グループ内で応急点検、補修を行う。	◎
	②-3 点検補修実施の確認手法	■ ない　□ ある → 内容：定期点検時期になったらメールで関係者に連絡送信する。	○
	③ 住まいの管理		
	③-1 住まい管理勉強会の実施	□ ない　■ ある → 内容：事務局で企画し、年4回実施予定。	○
	③-2 DIY体験会等の実施	■ ない　□ ある → 内容：事務局で企画する。	○
	③-3 その他の相談会等の実施	■ ない　□ ある → 内容：設置メーカーと協力して、年1回「住まい相談会」を実施する。	○
	④ 維持管理委員会等の設置	■ ない　□ ある → 内容：グループ内の委員会が構成員に周知させる。	○
	⑤ その他の維持管理の手法	■ ない　□ ある → 内容：特になし	
b	① グループ構成員の倒産廃業時のバックアップルール	□ ない　■ ある → 内容：構成員が倒産廃業時には、事務局が代替履行できる構成員を斡旋する。	◎
	② 過去の瑕疵内容等に学ぶ勉強会の実施	■ ない　□ ある → 内容：瑕疵保険法人に事務局が交渉し、講習会を企画する。	○
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。		事務局は消費者の総合的な相談窓口となる。	◎

エ．グループの技術力の向上

【平成29年度対応方針】			◎、○記入欄
a	① 未経験工務店等への施工技術研修会等の開催	□ ない　■ ある → 内容：補助対象現場を利用した施工構成員向けの見学会を行う。	○
	②-1 品質管理のための共通ルール	□ ない　■ ある → 内容：高度省エネ型につき、劣化対策等級2相当以上とする。	○
	②-2 上記共通ルールが守られていることの確認手法	■ ない　□ ある → 内容：事務局で基礎高の寸法を確認する。	○
	③-1 需給計画の策定	■ ない　□ ある → 内容：今後、地域材の需給見込みを策定する。	○
	③-2 技術力向上のための中長期的な計画	□ ない　■ ある → 内容：省エネ義務化に備え「適合率向上に向けた講習会」を受講する。	◎
	④ ③に基づく業種ごとの合理化の取組	□ ない　■ ある → 内容：設計構成員は、外皮計算・一次エネルギー計算を習得し施工構成員を支援する。	○
b	①-1 省エネ技術講習会への施工事業者社員の参加人数	昨年度までの終了者数　14名　今年度の参加目標人数　2人	◎
	①-2 省エネ技術講習会への請負技能者等の参加人数	昨年度までの終了者数　14名　今年度の参加目標人数　2人	◎
	② 省エネ技術講習会への参加促進のための取組	□ ない　■ ある → 内容：事務局で未受講者名簿を作成し、講習会開催予定表を地域協議会より入手して通知する。	◎
c	① 新たな技術等の導入	■ ない　□ ある → 内容：木質繊維断熱材などを試験採用し、大手との差別化を研究する。	○
	② 新たな技術等の開発	■ ない　□ ある → 内容：当グループでの新技術開発は検討していません。	
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。		特になし	

※）行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

＜地域型住宅グリーン化事業に対する取り組み＞（長寿命型・高度省エネ型・優良建築物型共通）　　＜様式３－３＞

１．地域型住宅の名称・対象地域(必須)	（地域型住宅の名称）グリーン化住宅	（地域型住宅供給対象地域）宮城県
２．グループの名称・結成年月(必須)	（グループの名称）グリーンハウザー共の会	（結成年）2015 年
３．過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	04-0449-0086	

４．地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み　※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。
※住宅と建築物（非住宅））の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

オ．地域の産業・住文化・景観等への寄与

【平成29年度対応方針】			◎、○記入欄
a	① 地域材利用に関する共通ルール(必須)	主要構造材につき、次の証明制度を利用する。 ・土台　：　合法木材証明制度（国内、国外） ・柱　　：　合法木材証明制度（国内、国外） ・梁桁　：　合法木材証明制度（国内、国外）	◎
	② 地域材利用の1棟当たりの割合(必須)	□ 50%未満　■ 50%以上　□ 80%以上	
	③ 標準的な地域材の使用部位 (必須)	主要構造材　土台：□ 使用していない　■ 使用している 柱：□ 使用していない　■ 使用している 梁・桁等の横架材等：□ 使用していない　■ 使用している 羽柄材　間柱、根太、垂木等：■ 使用していない　□ 使用している 造作材　枠材、廻縁等：■ 使用していない　□ 使用している 板材　壁板、床板等：■ 使用していない　□ 使用している	
	④ 地域材の流れ（フロー図）などグループの取組に関する補足説明	主要構造材以外の木材についても合法性を調査していく。	
b	①-1 地域材在庫把握の仕組	□ ない　■ ある →　内容：　事務局が木材流通と協力して在庫把握している。	◎
	①-2 地域材価格の共有の仕組	□ ない　■ ある →　内容：　事務局が木材流通と協力して在庫価格の情報を得ている。	◎
	② グループ全体における地域材の需給予測	■ 行っていない　□ 行っている→　内容：　需給変化の多い国産材について予測を施工構成員に通知していく。	○
c	①-1 畳の活用	■ 行っていない　□ 行っている→　内容：	
	①-2 和瓦の活用	■ 行っていない　□ 行っている→　内容：	
	①-3 襖の活用	■ 行っていない　□ 行っている→　内容：	
	①-4 障子の活用	■ 行っていない　□ 行っている→　内容：	
	②-1 その他地域の伝統的な素材の活用	■ 行っていない　□ 行っている→　内容：　住まい方に応じて活用する。	○
	②-2 その他地域の伝統的な意匠の活用	■ 行っていない　□ 行っている→　内容：　住まい方に応じて活用する。	○
d	① 地域の伝統的なデザインを継承する取組	■ 行っていない　□ 行っている→　内容：　伝統的なデザインを施工する構成員による他構成員への指導・助言を行う。	○
	② 地域の住まい方の継承につながる取組	■ 行っていない　□ 行っている→　内容：　施工店人員の高齢化もあるため、若手職人の指導・育成に積極的に取り組む。	○
	③ 地域の街並み形成へ寄与する取組	□ 行っていない　■ 行っている→　内容：　自治体による街並み、景観ガイドラインがあれば尊重・遵守していく。	◎
	④ 和の住まいの要素を取入れた取組	□ 行っていない　■ 行っている→　内容：　深い庇や軒、続き間など伝統的な要素を取り入れた「和のすまい」を推奨していく。	◎
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。		特になし	

カ．その他

【平成29年度対応方針】		◎、○記入欄
東日本大震災の復興に資する取組	災害公営住宅等の積極的な受注活動を行っていく。	○
平成28年熊本地震の復興に資する取組	特になし	

※）　行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

＜地域型住宅グリーン化事業に対する取り組み＞（高度省エネ型・優良建築物型のみ）　　＜様式３－４＞

１．地域型住宅の名称・対象地域（必須）	（地域型住宅の名称） グリーン化住宅	（地域型住宅供給対象地域） 宮城県
２．グループの名称・結成年月（必須）	（グループの名称） グリーンハウザー共の会	（結成年） 2015 年
３．過去のブランド化事業採択グループ番号（必須）	04-0449-0086	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み

キ. グループが取組む木造住宅・建築物の特徴
※この項目は、高度省エネ型、優良建築物型を申請するグループのみ記入してください。
※申請に係る認定低炭素住宅、性能向上計画認定住宅、ゼロ・エネルギー住宅、優良建築物の性能や特徴等について記入してください。

認定低炭素住宅については、建物の性能だけではなく環境へのエネルギー付加の小さいエコキュートやLEDの証明器具などを使用する。

※）行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。